

## 第2次始良市地域福祉活動計画

Aira Social Welfare Action Plan

2021 ▶ 2025

地域を知り、  
地域をつくる



1

すべての人に  
居場所を



2

一人も  
とりこぼさない



3

備えることから  
はじめよう



4

社会福祉法人始良市社会福祉協議会



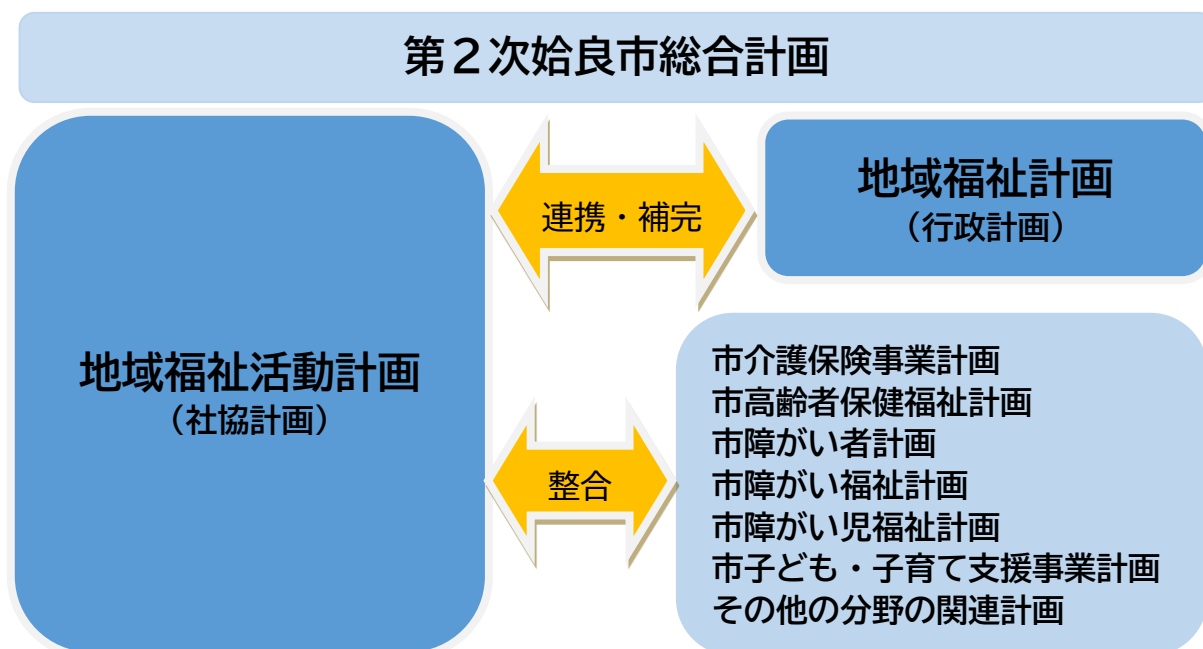
## 地域福祉活動計画とは

「地域福祉活動計画」は、地域福祉の推進を図ることを目的とする団体として社会福祉法第109条に規定されている社会福祉協議会が中心となり、地域が抱える福祉課題の解決に向けて地域住民をはじめ、ボランティアや福祉・保健の関係団体や事業者などと協働し取り組むことを定めた民間の活動・行動計画です。

## 計画の位置づけ

本計画は、同じく地域福祉の推進を目的とする「始良市地域福祉計画」と互いに連携・補完し合うとともに、市のその他の関連計画との整合性を図りながら、地域福祉の推進を目指します。

【地域福祉活動計画及びその他の計画との関係（イメージ）】



## 計画の期間

計画の期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間とします。毎年度、評価票に基づいて活動の評価を行うとともに、3年目に取組の進捗状況の把握やモニタリング調査を実施し、必要に応じて見直しを行うものとします。

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
計画に基づいた活動の実施 評価票に基づいて活動の評価を行い、必要に応じて見直しを行う				

## 基本理念

あんぜんあんしんに

誰もがいきいきと

自分らしく暮らせる地域を目指して

基本理念の「あんぜんあんしんに」には、昨今のコロナウイルスによる自粛生活を背景に、安全に通える居場所がなくなっていること、複合的な課題を抱える世帯が増え、安心して生活することに不安が増えていることがあり、社会的に安全が継続的に確保されると同時に、安全確保に関わる人々の関係が醸成され、安全を人々の安心へとつなげられる社会を目指す意味が込められています。

次に、基本理念の「誰もがいきいきと」には、特定の人に限定せずどんな人もという意味と、住み慣れた人達だけでなく、例えば始良市に転入し地域社会に溶け込みきれていない人をはじめ、「ひきこもり」の方など「住み慣れない」人たちを含めたすべての人がいきいきと暮らせる地域を目指す意味が込められています。

そして、基本理念の「自分らしく暮らせる地域を目指して」には、いわゆるマイノリティ（社会的な少数者）と呼ばれる方だけでなく、全ての人が自分らしく暮らせる多様性を尊重した地域社会を目指す意味が込められています

## 基本目標・支援目標

基本目標

支援目標

具体的な取り組み



より分かりやすく伝える

地域住民が必要とする情報を素早く発信する

- 1 多様な情報媒体の活用
- 2 社協PR大作戦

地域を知り、  
地域をつくる



1

より分かりやすく伝える

地域住民が必要とする情報を素早く発信する

- 1 多様な情報媒体の活用
- 2 社協PR大作戦

地域力を高める

情報が集まりやすく、集まった情報を地域や関係機関、社協との間で共有できるしくみをつくる

- 1 地域の社会資源を収集・発掘・把握
- 2 関係機関をつなぐHUB機能の構築

地域を研究する

地域に出向きニーズを調査し集計、分析する

- 1 顔の見える関係づくり
- 2 大学などとの共同調査

すべての人に  
居場所を



2

おもいに寄り添う

地域で安心して生活できる場をつくる

- 1 生活支援サービスの充実
- 2 通いの場などへの参加促進

支えるをささえる

支援者が悩みを抱えないよう支える人を孤立させないしくみをつくる

- 1 家族など当事者を支える人の仲間づくり

つくってみよう新たな居場所

時代に合わせて新しい居場所をつくる

- 1 新たな居場所づくりの研究

一人も  
とりこぼさない



3

## まずは丸ごと受け止める

一人ひとりの課題に寄り添い、ネットワークで  
解決する

- 1 各種相談窓口の周知
- 2 NO MORE たらい回し
- 3 安心して相談できる空間づくり
- 4 当事者家族及び支援者への支援

## 地域の声に耳を傾ける

地域に潜在する課題を見つけ、声なき声をひろう

- 1 アウトリーチによる課題の解決
- 2 職員のスキルアップとヘルスケア

備えることから  
はじめよう



4

## 災害に備える

災害から身を守り、災害に強い地域をつくる

- 1 福祉救援マニュアルの作成
- 2 行政及び各関係機関との調整・連携
- 3 家庭や地域におけるルールやしきづくり
- 4 避難施設などに関する調査

## 復興を支える

力を結集し、互いに助け合う地域をつくる

- 1 スムーズな災害ボランティアセンター  
の開設及び運営
- 2 生活再建と心のケア



社会福祉協議会は、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現を目指し、  
地域に密着した福祉活動を展開している営利を目的としない民間組織です。

社会福祉協議会は、社会福祉法に基づき設置されている「社会福祉法人」です。

社会福祉協議会は、地域に暮らす皆様のほか民生委員児童委員社会福祉施設・  
社会福祉法人等の社会福祉関係者、保健・医療教育など関係機関の参加・協力  
のもと地域の人びとが住み慣れたまちで安心して生活することのできる「福祉  
のまちづくり」の実現をめざし、さまざまな活動を行っています。

高齢者や障がい者の在宅生活を支援するために、訪問介護や給食サービスは  
はじめ、さまざまな在宅福祉サービスを行っているほか、多様な福祉ニーズに  
応えるため地域の特性を踏まえ独自の事業にも取り組んでいます。

また、地域のボランティアと協力し、高齢者や子育て中の親子が気軽に集える  
「サロン活動」を進めているほか、ボランティアセンターではボランティア活  
動に関する相談や活動先の紹介、また小中高校における福祉教育の支援等、地  
域の福祉活動の拠点として役割を果たしています。

社会福祉協議会の活動は、地  
域活動に参加いただくほか、  
地域の皆さまからの寄付に支  
えられています。  
趣旨に賛同していただける世  
帯や個人、団体、企業等の方々  
のご協力をお願いします。

### 一般会員(世帯)

1世帯あたり200円

### 団体会員(団体・施設等)

1口 1,000円以上

### 特別会員

(個人、篤志家、会社、事業所等)

1口 1,000円以上

始良市社協  
Instagram



AIRASHAKYO

地域福祉活動計画  
【本編】



## 第2次 始良市地域福祉活動計画(概要版)

発行年月

令和4年3月

発行

社会福祉法人始良市社会福祉協議会

編集

地域在宅福祉課

所在地

〒899-5432

鹿児島県始良市宮島町26番地19

電話 0995-65-7757 FAX 0995-64-5440



この概要版は、赤い羽根共同募金の助成金で作成しています。